

いじめや災害から子どもを守ろう

猿渡（えんど）久子市議は、3月市議会一般質問で防災教育の重要性やいじめや体罰をなくすための取り組みについて質問しました。

災害から命を守る力を

えんど久子市議は、片田教授がすすめる釜石の防災教育を紹介。「釜石の奇跡といわれるが、子どもたちがおとな顔負けの判断力で命を守ったことは実績であり、別府でも自分の命は自分で守る力を育む防災教育を強化すべき」と質問。担当課長は、亀川小学校での防災教育の取り組みを紹介し、「このような防災学習の実践を他校でも推進していく。片田教授監修のDVDを全小学校に配布して防災学習に活用するように通知した」と答弁しました。

命を守ることを最優先に

さらに、えんど市議は日本共産党が昨年11月に発表した提案「『いじめ』のない学校と社会を」を紹介。「学校には多くの仕事があるが、子どもの命を守るほど大切な仕事はないはず。子どもの命最優先に、学校や家庭や地域が力合わせていることが大事だと考える。また、体罰も許されないと考えるが、教育長の見解を」と質問しました。

日本共産党の提案

「いじめ」対応の基本原則の提案

命優先

いじめ対応はぜったい後回ししない

情報

すぐ全教職員・保護者に知らせ連携

子ども

いじめの起きにくい信頼感、人間関係

対応

安全確保＋いじめなくなるまで対応

遺族

いじめの真相を知る権利を尊重する

いじめは絶対に許さない

寺岡悌二教育長は「学校は市民のものであり地域の財産だ。学校で命に通じるいじめはあってはならないし、許してはならない。また、自然災害から子ども達の命を守る使命と義務がある。考える力、判断力を身に付けさせることが肝要だ。教職員・教育委員会は、いじめは絶対許さない。体罰は違法だとしてしっかり自覚し、安心できる学校に、学校・地域・家庭と一体でまい進したい」と、見解を述べました。



日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活

別府市石垣西8-2-31

TEL0977-22-6576

No.550

2013. 4. 10.

障害がある人もない人も 安心して安全に暮らせる別府市条例

事業所への支援が必要

障がい者への差別をなくす条例を6月議会に提案予定です。えんど久子市議はくり返し市議会一般質問で取り上げてきました。

3月議会でも質問し、

「別府市条例の素案は防災の問題、親亡き後の問題、社会モデルを原則とする。この3点で先進的だ考える。絵に描いた餅では困る。要望に応えるために事業所を拡充したいが難しい」という声を聞くが、市の施設の活用など市の支援が必要だと考えるが、どうか」と部長の見解を求めました。

全庁体制で取り組みたい

福祉保健部長から「財政的なこともあり、すぐに取り組めるものと年次計画で取り組まなければならぬものがあり、優先順位を検討する必要がある。来年4月の施行に向けて具体的な施策を考える上で検討したい。障害がある人も安心して暮らせるまちづくりには、市民の協力を得ながら全庁体制でしっかり取り組んでいきたい」と答弁がありました。

今後も、みなさんと一緒にがんばっていきま



えんど久子市議はフェイスブックを始めました。友達になってください。

日本共産党市議団のHPや、えんど久子のHP「はっぴーえんどとねっと」をぜひご覧下さい。

社会福祉会館で行われた7回目のタウンミーティング。90名が参加。多くの参加者から意見が出されました。

